

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	86%	14%			県の指定基準を満たしたスペースを確保しています。利用人数や活動内容によって、近隣の公園や地域施設に行ったり、1階を使ったりしています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	86%	14%		専門性は適切かは分からない。	玄関に掲示してある『本日のスタッフ』に所持している資格を記載しています。研修を重ね、専門性を高めた支援を行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境*1になっているか また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	86%	14%			構造上の問題解決は困難ですが、階段や段差のある場所についてはご利用者の障害特性に合わせてその都度職員が安全に活動できるよう対応することで補っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%				
適切な 支援	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	100%				
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	86%	14%			ご利用者の発達段階に合わせ具体的な支援内容を設定していきます。ご理解いただけるよう、分かりやすく丁寧な説明を心がけていきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%				
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	100%				
	9	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				
	10	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
本の 提供	11	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレン ト・トレーニング*4等)が行われているか	71%	14%	14%	行われたことがない ように思う。	コロナ禍で実施で きませんでした。 今後は実施できる よう計画していき ます。
	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの健康や発達の状況、課題について共 通理解ができているか	100%				
	13	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関す る助言等の支援が行われているか	86%		14%	行われたことがない ように思う。	いつでも対応いた しますので、ご相 談ください。 長期休暇時は相談 しやすいよう日時 を設定してお知ら せします。
	14	子どもや保護者からの相談や申入れについ て、対応の体制が整備されているとともに、子 どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れ をした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%				
	15	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の ための配慮がなされているか	100%				
適切 な支 援の 提供	16	定期的に会報やホームページ等で、活動概要 や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関す る自己評価の結果を子どもや保護者に対して 発信されているか	100%				
	17	個人情報の取扱いに十分注意されているか	100%				
非常 時等 の対 応	18	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・ 説明されているか また、発生を想定した訓練が実施されている か	86%	14%		訓練をしていると思 うが、当日の利用に なったことがないか ら。	マニュアルや避難 経路等は、玄関や 面談室に掲示して ご利用者様と保護 者様に周知してい ます。 また、災害や事故 の対応について契 約時に管理者がご 説明しています。
	19	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、 その他必要な訓練が行われているか	71%	29%		訓練をしていると思 うが、当日の利用に なったことがないか ら。 行われているかわ からない。	今年度は、水害や 地震を想定した訓 練を行いました。 今後も計画的に訓 練を実施していき ます。また、実施状 況や内容について も報告していきま す。
満足 度	20	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				
	21	事業所の支援に満足しているか	100%				

*1「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
--	--	--------	----	--------------	-----	-----	----------------

*3「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

（保護者等の皆様へ）

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

○「はい」、「どちらともいいえ」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についとも記入ください。

「どちらともいいえ」、「いいえ」に○を記入した場合、必ず「ご意見」をご記入ください。